



# 北海道農業・農村を支援する 農業改良普及センターの概要





北海道

# 檜山の農業

水稻や馬鈴薯、豆類、野菜、酪農や肉牛、養豚など、バラエティーに富んだ農業が営まれている。

水稻は「ふっくりんこ」を中心に「ななつぼし」「ゆめぴりか」の特A品種、減農薬が可能な「きたくりん」などが栽培されている。

馬鈴しょは、南部では厚沢部町が発祥の地とされる「メイクイン」、北部では「男しゃく」が栽培されている。

野菜は、アスパラガスやブロッコリー、ミニトマトなど多品目が栽培され上ノ国町は、道内有数のさやえんどう産地となっている。

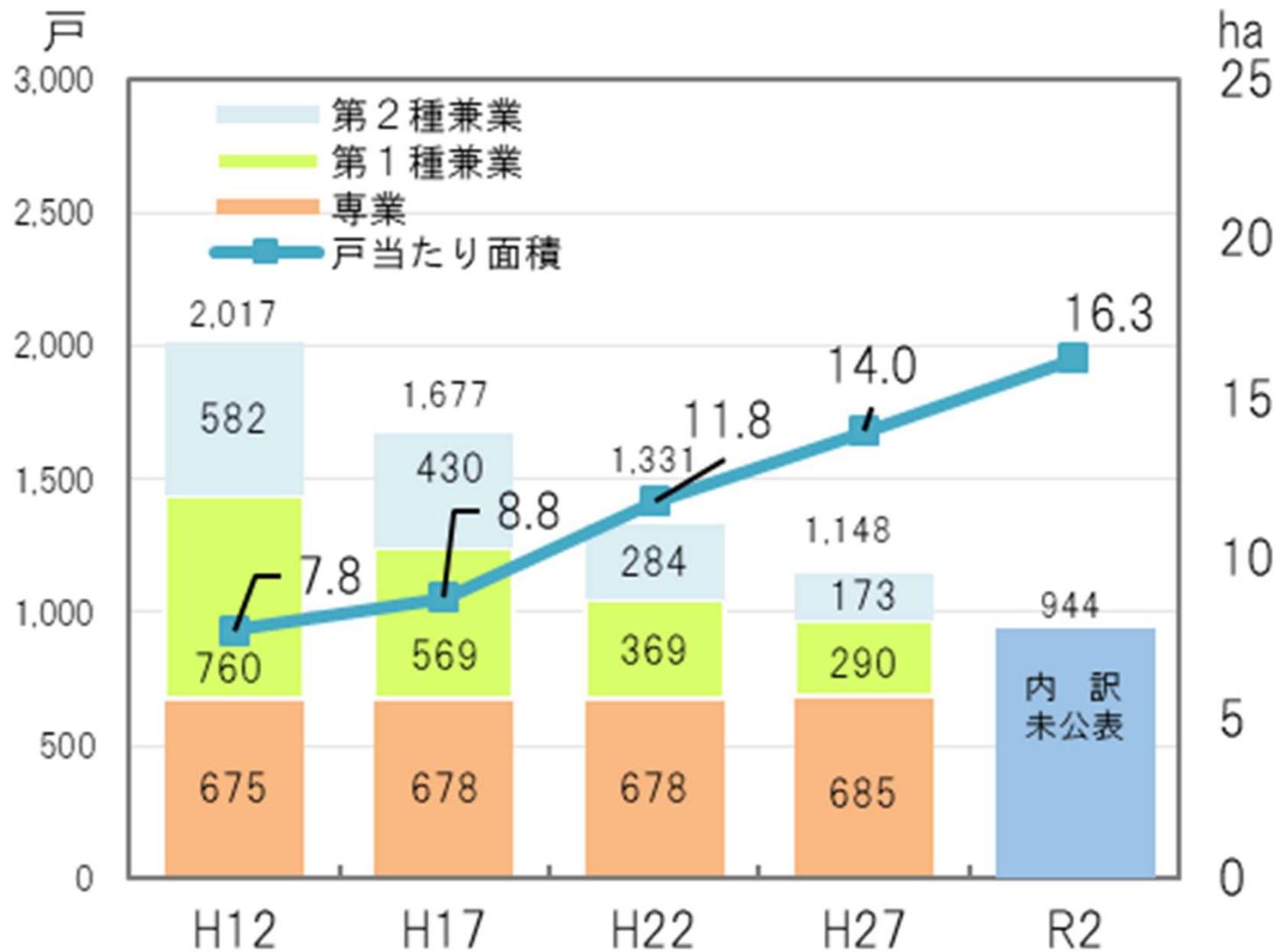
また、北部を中心に酪農・肉用牛経営が行われているほか、戸数は少ないものの養鶏や地域ブランドとなっている養豚も行われています。

このほか、厚沢部町では焼酎工場と連携したさつまいもの生産、奥尻町では島内で生産されたブドウによるワイン醸造などが進められている。



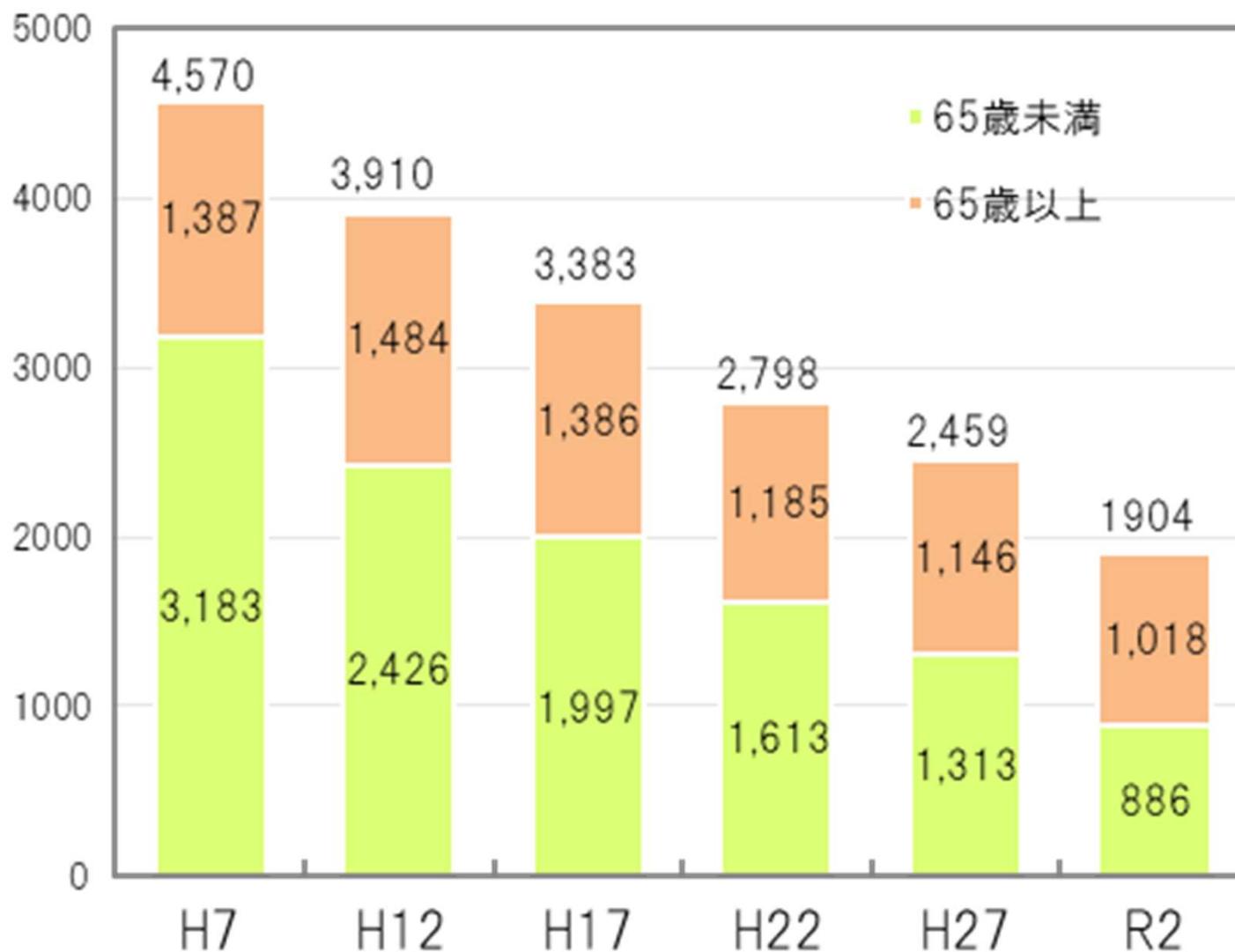
# 農家戸数及び戸当たり経営面積の推移

(単位：戸、ha)





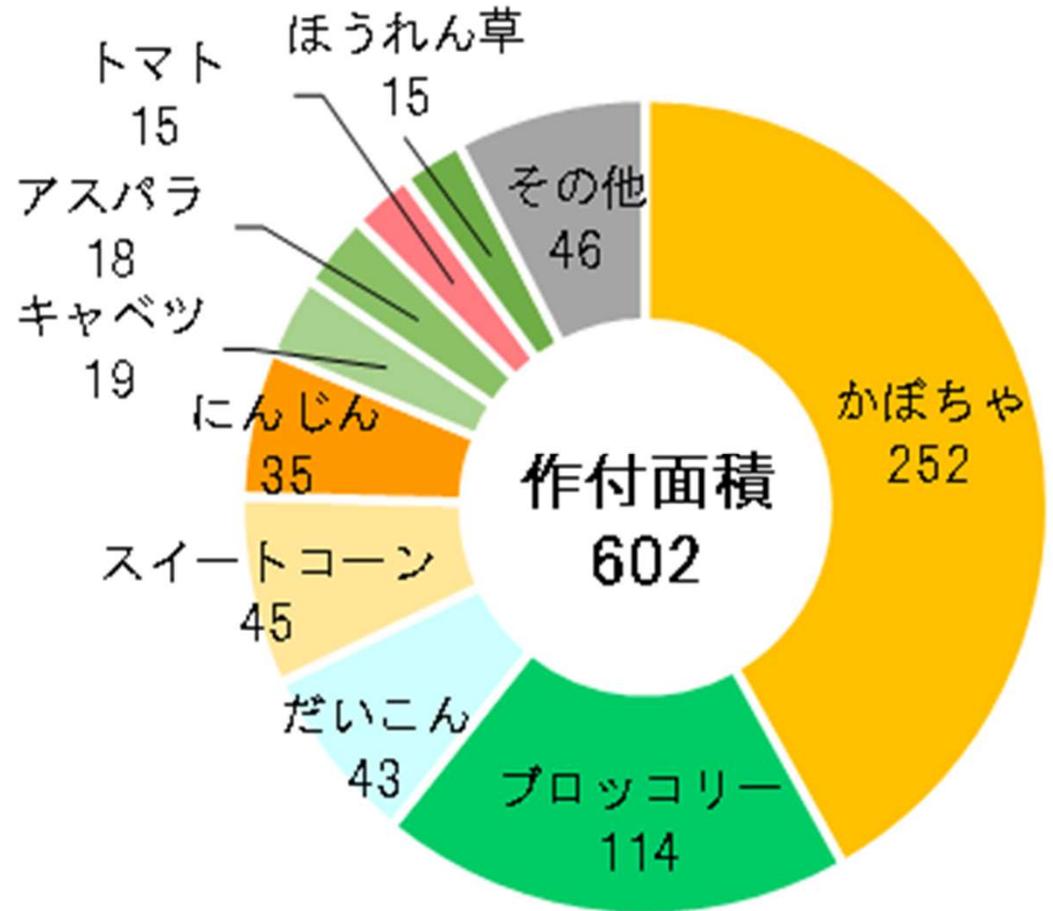
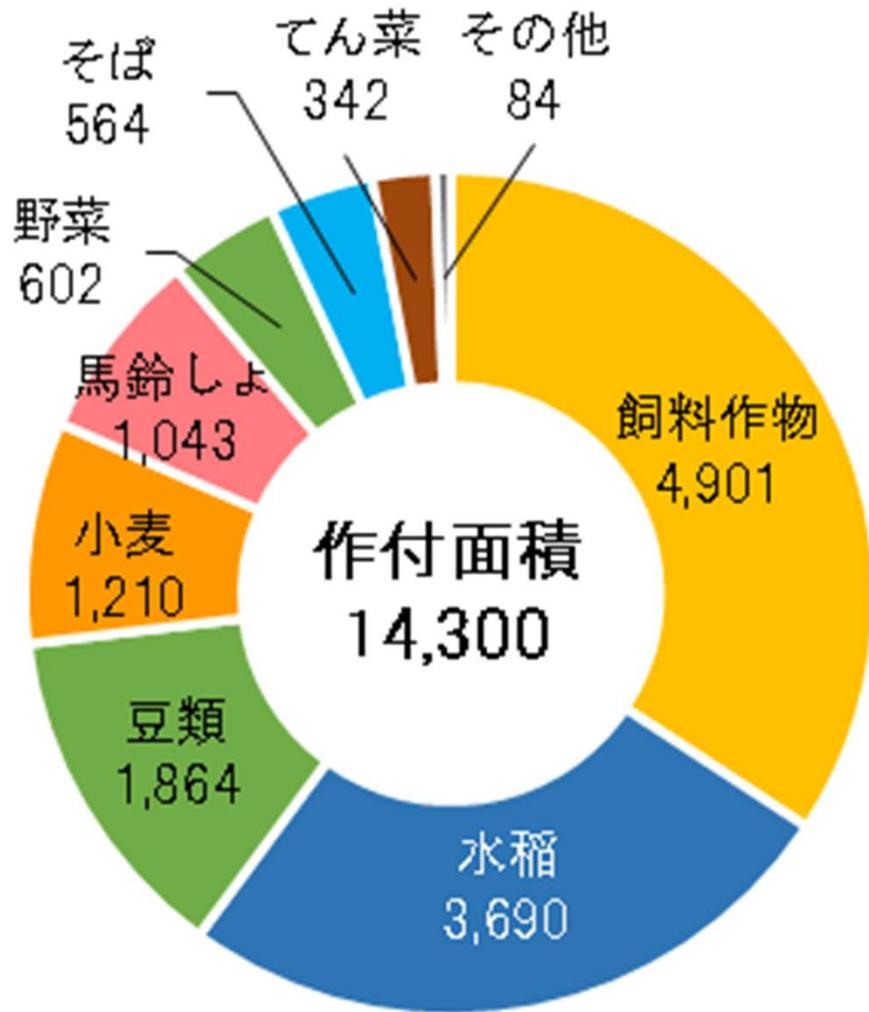
# 年齢別農業就業人口（単位：人）



「農林業センサス」R2。H17までは旧熊石町を含む 3

# 主要農作物・主要野菜の作付面積

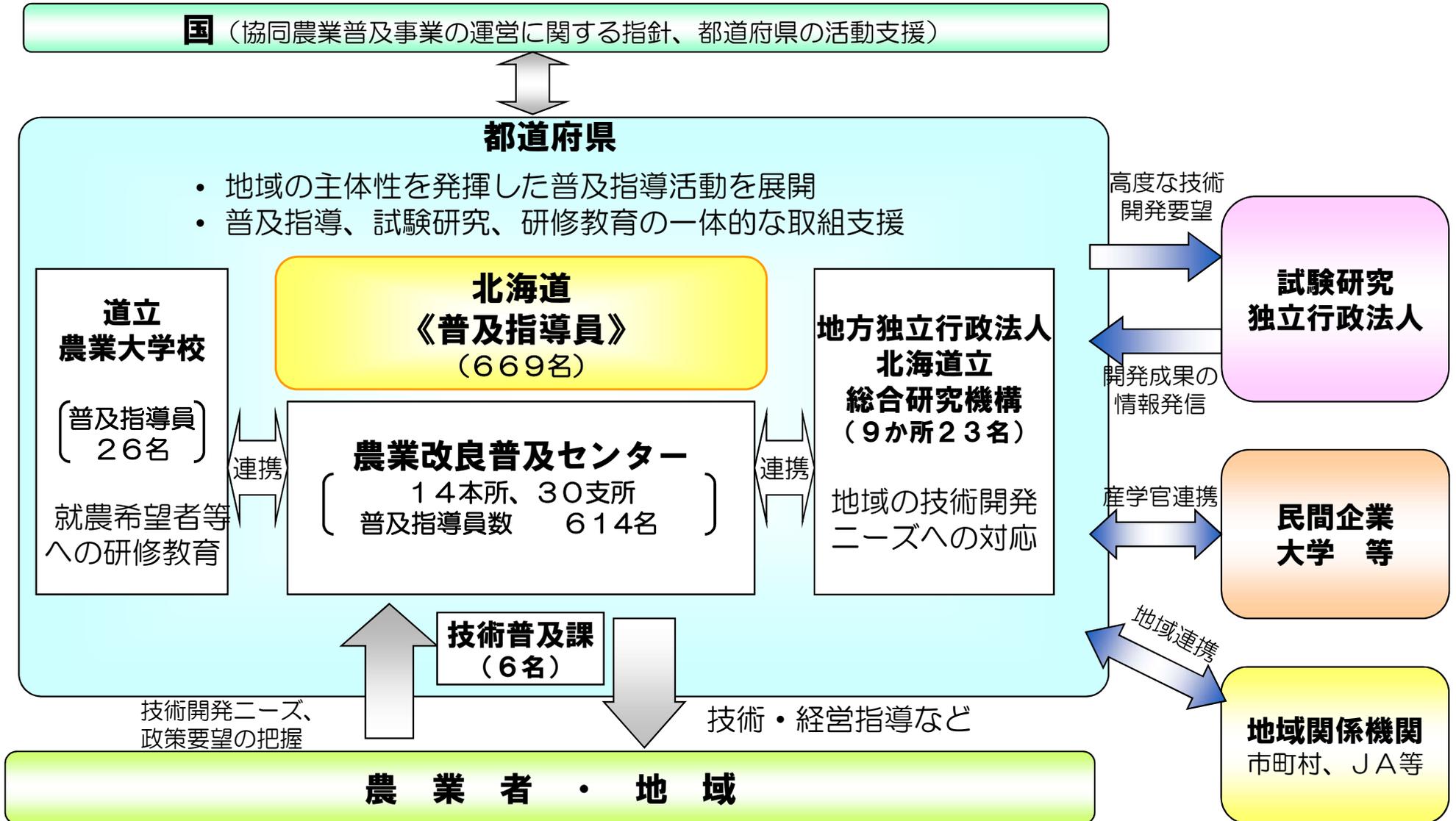
(令和3年産) (単位: ha)





# 北海道における協同農業普及事業の実施体制

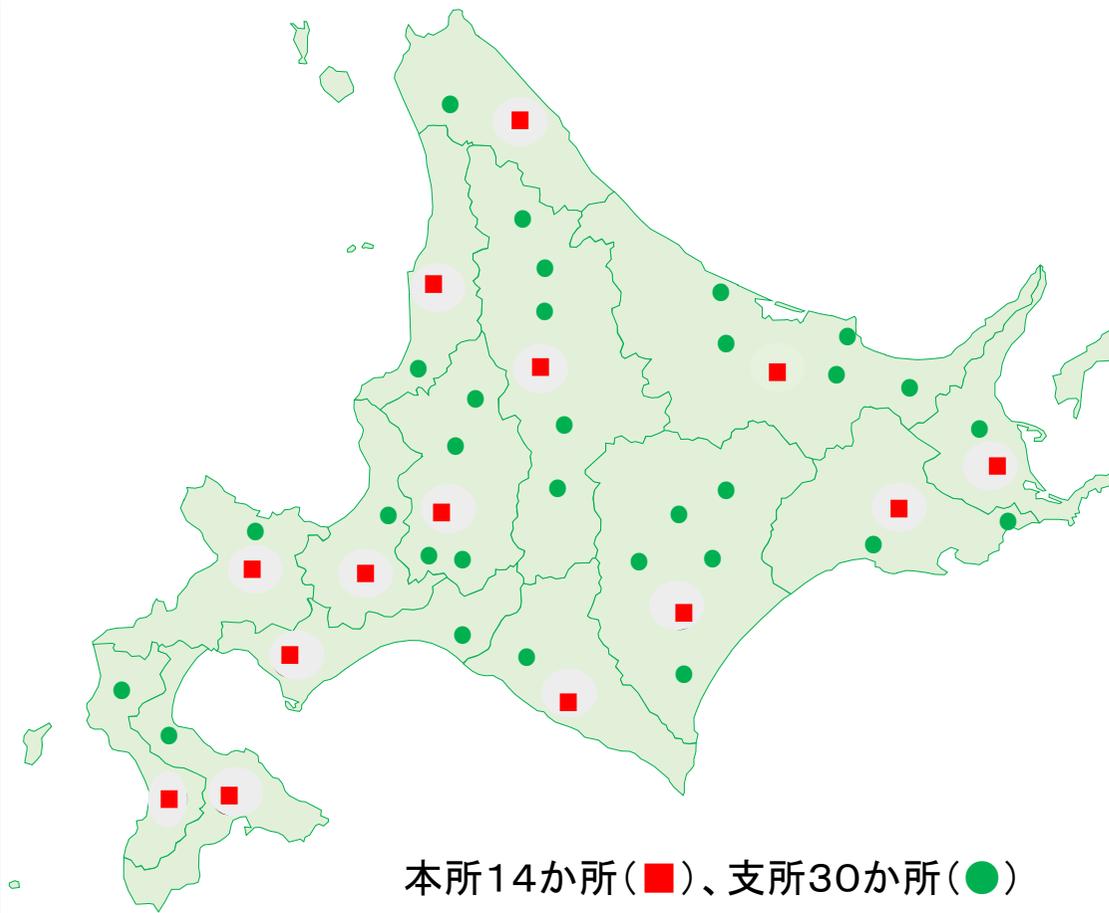
○ 道では、普及指導員を農業改良普及センター、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（駐在）、道立農業大学校等に配置し、関係機関・団体との連携のもと地域の主体性を発揮した普及指導活動等を展開。





# 農業改良普及センターの配置

○ 北海道農業改良普及センター条例に基づき、総合振興局・振興局ごとに普及センターを設置。現在、14の農業改良普及センター（本所）及び30の支所を配置。



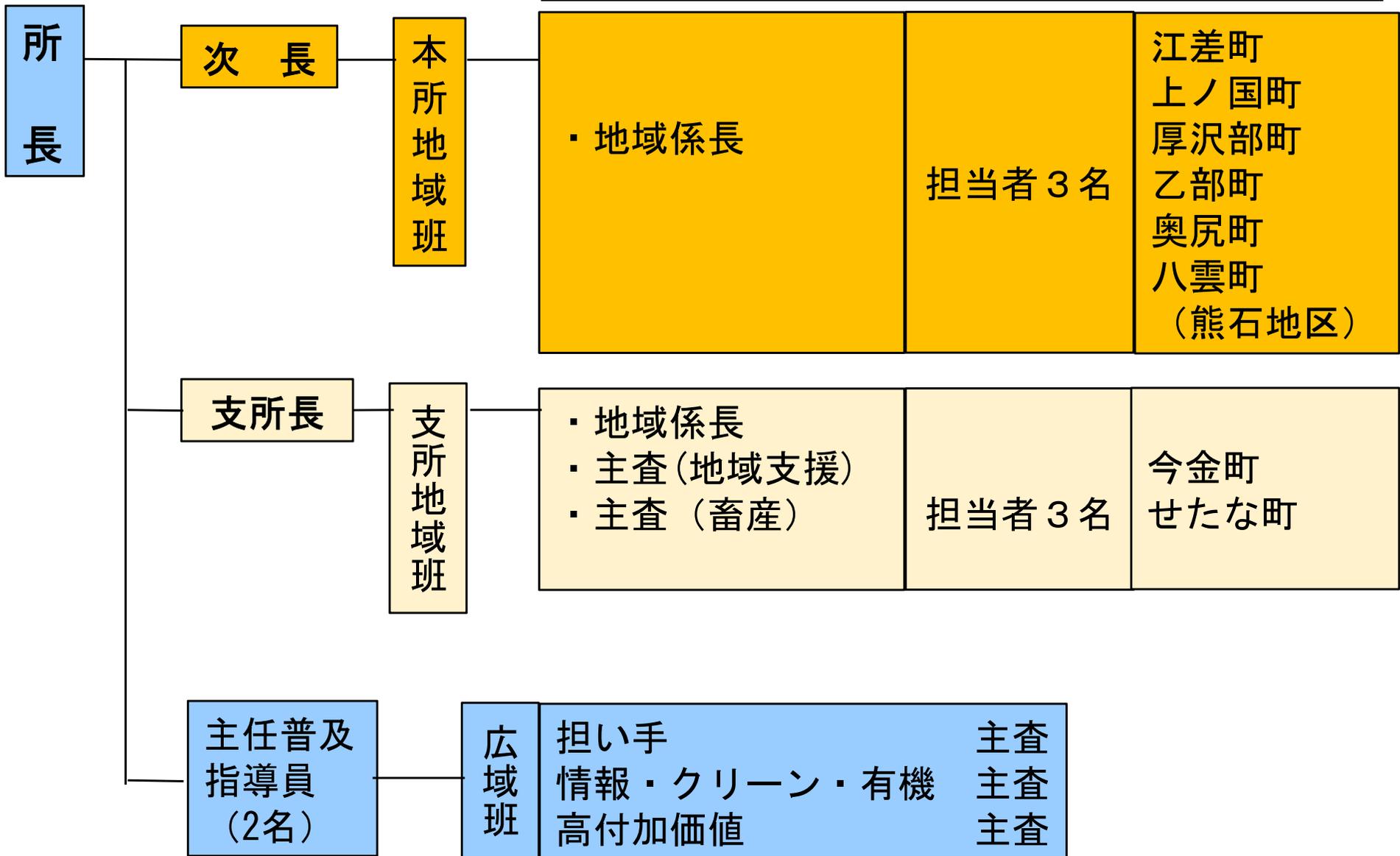
本所 (■)	支所 (●)	活動 区域数
空知	空知南東部、空知南西部、中空知、北空知	9
石狩	石狩北部	4
後志	北後志	5
胆振	東胆振	3
日高	日高西部	3
渡島	渡島北部	4
檜山	檜山北部	2
上川	富良野、大雪、士別、名寄、上川北部	12
留萌	南留萌	2
宗谷	宗谷北部	2
網走	清里、網走、美幌、遠軽、紋別	11
十勝	十勝東部、十勝東北部、十勝北部、 十勝西部、十勝南部	10
釧路	釧路東部、釧路中西部	3
根室	北根室	3
14	30	73

活動区域：道内を地域農業のまとまりを踏まえ、73の活動区域に分け、各区域に地域係を配置



# 檜山農業改良普及センター活動体制

本所11名(江差町)、支所7名(せたな町)





# 普及指導員の仕事

## ● 基本的役割

- ・栽培技術導入の支援
- ・経営管理支援
- ・担い手の育成支援
- ・農業者の組織化・体制づくり
- ・農業施策の活用支援

## ● 活動方法

- ・新技術の実証・展示
- ・技術の体系化、マニュアル化
- ・巡回指導、相談対応、講習会開催
- ・生育状況や病害虫発生状況の調査
- ・重点地域を対象とした地域振興



新たな品種の導入試験



新規参入者の相談対応



個別巡回



経営管理能力向上を支援



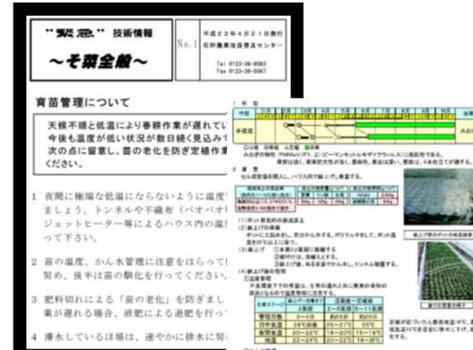
協業法人のミーティングに参加・助言



農業生産法人の設立支援



重点地区講習会



技術資料・栽培マニュアルの作成・提供